

第1節 学校教育の充実

＜施策の目標（目指す姿）＞
 生きる力が育まれ、信頼される学校づくりが進んでいます

※重要度・満足度は、平成25年度市民アンケート調査

1 学校教育の内容（小中学校）

重要度 80.0 / 満足度 58.0

【現状と課題】

「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現を目指す自立した人間の育成が求められています。

江田島市の状況を、学力調査、生徒指導上の調査、体力・運動能力調査等において国や県と比較すると、おおむね同水準にあります。しかし、学力における知識・技能を活用する力や体力・運動能力の一部に課題があり、問題行動が発生している状況もあります。

また、グローバル化や情報化が進展している状況があります。

【施策の方向】

各調査結果を分析し、授業改善等を行うことにより、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランスよく育成し、その水準を向上させます。

また、急速に進展するグローバル化や情報化への対応を図ります。

【主な取組】

- 授業改善等による学力の定着・向上
- 発達段階に応じた道徳教育及び人権教育の推進
- 集団宿泊活動や自然体験活動等の体験活動の推進
- 自己指導能力^{※1}を育成する生徒指導の充実
- 体力づくりの場の充実等による体力・運動能力の向上
- 学校・家庭・地域が一体となった食育の推進
- 言語活動の充実^{※2}等によることばの教育の推進
- 発達段階に応じた系統的なキャリア教育の推進
- 教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実
- 江田島市内の校種間（小・中・高・特別支援学校）連携の推進
- グローバル化・情報化に対応する教育の推進

※1 自己指導能力

その時、その場で、どのような行動が適切か、自分で考えて、決めて、実行する能力。

※2 言語活動の充実

論理的思考・コミュニケーションや感性・情緒の基盤となる「言語に関する能力」を育成するため、各教科等において、記録、要約、説明、論述などの「言語活動の充実」を図ること。

2 学校と地域・家庭との信頼関係

重要度 79.6 / 満足度 57.4

【現状と課題】

信頼される学校づくりのためには、教職員個々の資質・指導力を高めるとともに、学校組織の機能化を図ることが重要です。また、家庭や地域の人々の協力を得るなど家庭や地域との連携を図る必要があります。

各学校では、教職員の資質・指導力の向上を図るため、校内外での研修を計画的に実施しています。また、全教職員が学校の課題を共有し組織的に取り組むため、学校評価を行い、課題の改善を図るとともに、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進しています。

【施策の方向】

組織的な学校体制のもとで、教職員を育成するとともに、学校評価の充実等を図ることにより、開かれた学校づくりを進め、学校・家庭・地域の連携により信頼される学校を目指します。

【主な取組】

- 教職員の資質・指導力の向上（教職員研修の充実、OJT^{※3}等）
- 開かれた学校づくりの推進（学校評価の充実、ホームページの充実、学校へ行こう週間の開催等）

3 学校施設の整備

重要度 72.0 / 満足度 59.1

【現状と課題】

児童生徒数が減少する中、学校規模の適正化（学校再編）を図りながら、老朽化した校舎等の耐震化、修繕及び改修を行っています。学校統合による遠距離通学の児童生徒への対応が必要です。

また、急速に進展する情報化に対応するための、ICT^{※4}機器の整備も計画的に行っています。

【施策の方向】

安全・安心な教育環境を整備するため、老朽化した校舎等の耐震化、修繕及び改修を行うとともに、学校統合による遠距離通学の児童生徒を支援します。

また、教育の情報化に対応するため、ICT機器の整備を計画的に行います。

【主な取組】

- 学校施設の耐震化及び改修
- 学校施設・設備の管理・整備
- ICT機器の整備
- 遠距離通学への対応

※3 OJT
On the Job Trainingの略で、職場内教育のこと。

※4 ICT
Information and Communication Technologyの略で、コンピュータや情報通信ネットワーク（インターネット等）などの情報コミュニケーション技術のこと。